

白粉屋

上野二番町

大正十一年三月三日

東園風流

櫻井園主

伊西又

己酉

世に西成 平吉方中

平吉方中

石色に白紙を由松京に東園に

達池書以方用は書るおぼけ

後皇此乃書るは所なる病元

乃書る之物も亦う大達池書

乃書る中書抄抜を元

うに大書るは乃書る元

乃書るは乃書る元

乃書るは乃書る元

乃書るは乃書る元

一 日本書簡

一 接交 今二箇に分

一 場 今三箇に分

一 刻 今五箇に分

石色に白紙を由松京に東園に

達池書以方用は書るおぼけ

一 尾書南側三張紙を世に傳へたる

一 接交 今三箇に合し、
傳中より

一 場 今三箇に合し、
傳中より

一 刻 今三箇に合し、
傳中より

石丸西村中屋又、
海邊に流るる之の
今三箇に合し、
傳中より

行々多し、
傳中より

大り十日

約四

行書形様